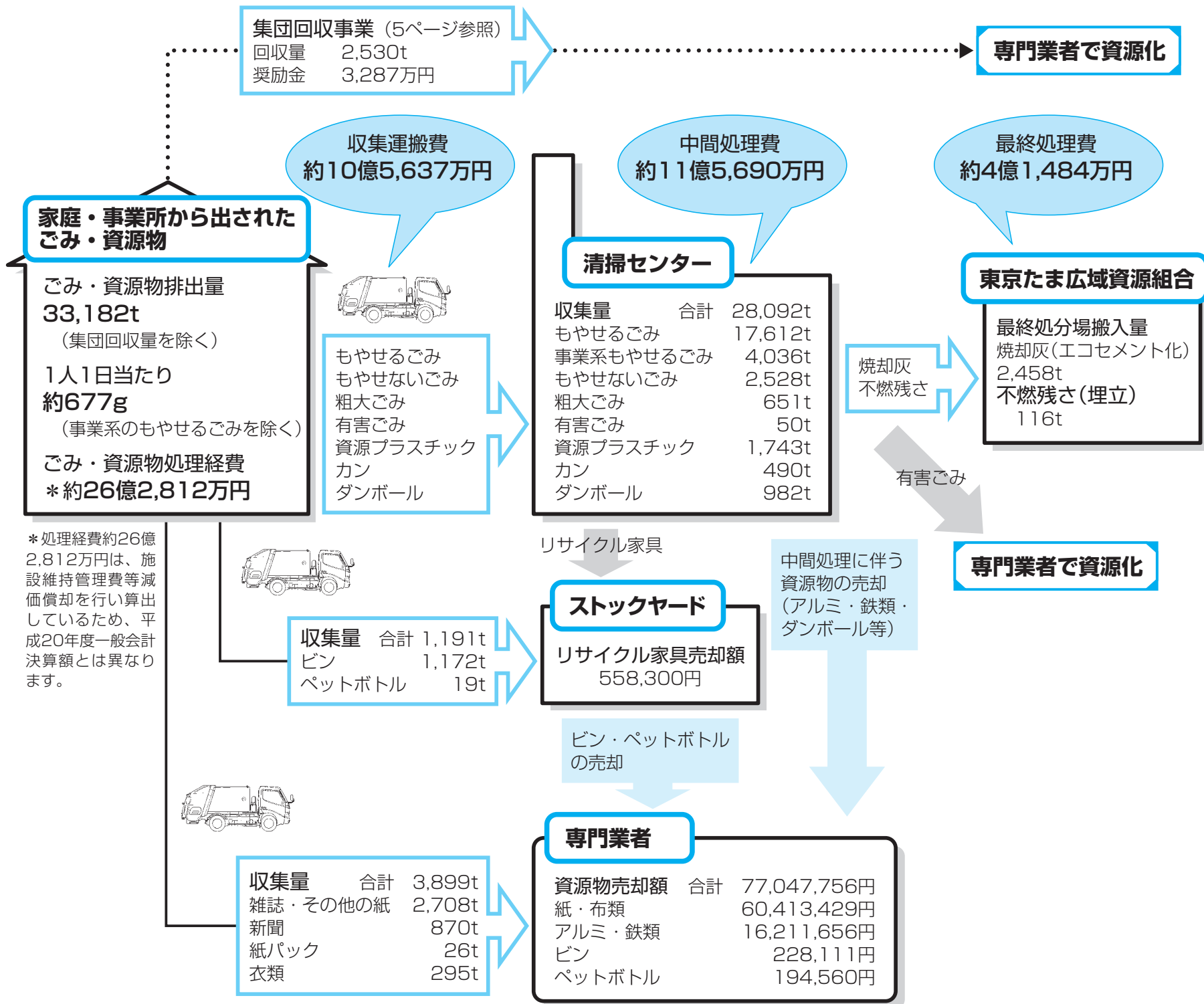


平成20年度 ごみ・資源物の処理状況をお知らせします

平成20年度のごみ・資源物の排出量は、33,182t(事業系のもやせるごみを含む)です。これは、前年度と比較すると約2.5%(836t)減少しており、戸別収集開始以前の平成17年度との比較では、約6.9%(2,453t)の減少となっています。

内訳では、粗大ごみが前年度比で4.5%増加したほかは、もやせるごみが2.2%、もやせないごみが3.5%、資源物全体としても3.4%減少しています。

→ごみ対策課 ☎(042)300-5300



ごみの中身はどうなったの

前年度と比べると、もやせるごみに多く混入していた「紙・布類」は約5%減少しましたが、まだ半分近くを占めており、もやせないごみも多く含まれています。

また、もやせないごみに多く混入していたプラスチック類も約3.5%減少していますが、まだまだ分別できるごみ・資源物が多く含まれています。

ちょっと待って、ごみにする前に

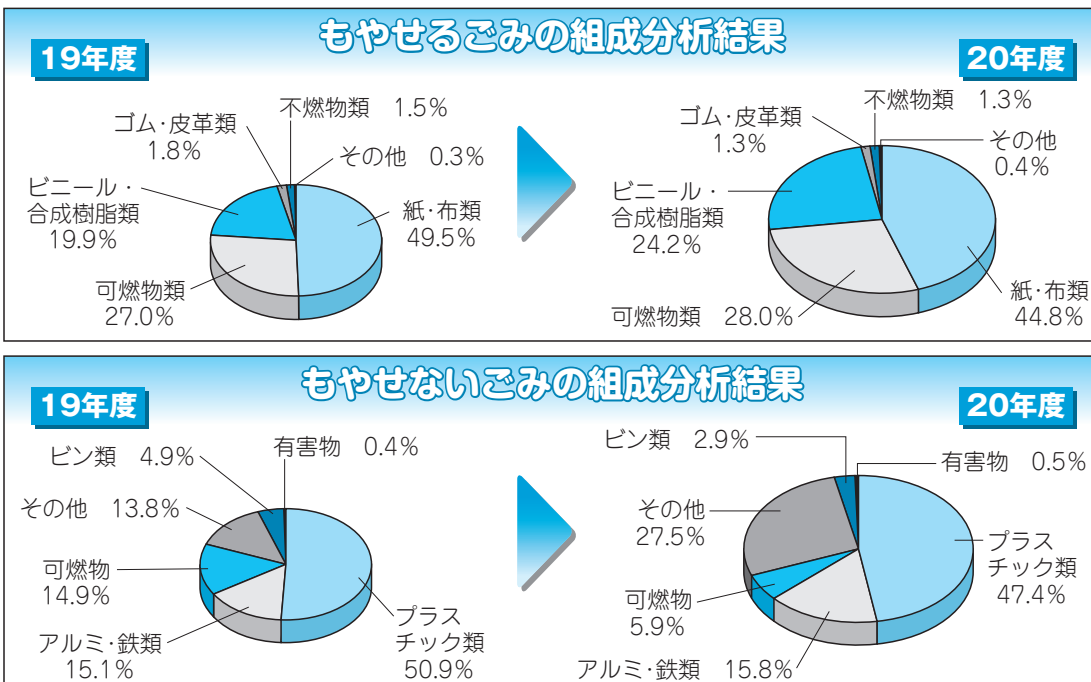
ごみを出す前にちょっと袋の中身をのぞいてみてください。

「もやせるごみ」の中にリサイクル可能な紙類は混ざっていませんか。

また、プラマークの入った容器類を「もやせないごみ」として出していないですか。

今まで何気なくごみとして出していたものが、実は資源物として出せるものだったということがあります。きちんと分別することは、①ごみの減量②ごみ処理経費の削減③限りある資源の有効活用④地球環境の保全に役立ちます。

「私だけなら大丈夫」という気持ちこそ捨ててもらい、更なるごみ減量・分別にご協力をお願いします。



●●● **ごみ・資源物の分別の徹底を!** ●●●